

社会医療法三栄会ツカザキ病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	色素緑内障の検討 (No.191039)
当院の研究責任者 (所属)	青木 良太 (眼科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	他の機関への試料・情報の提供はありません
本研究の目的	色素緑内障では虹彩と水晶体、zinn 小帯あるいは虹彩と眼内レンズの間に摩擦が生じて虹彩色素上皮の色素が前房中に散布され、線維柱帯に色素が沈着する。その結果房水の流出が阻害され眼圧上昇をきたし、緑内障へと進行する。白人では 1-2%にみられ、近視眼の若年男性 (30-50 歳代) に多いとされている。しかし日本人では非常にまれであるため国内からの色素緑内障に関する報告はまだ少なく、臨症像について検討することは今後の緑内障治療に役立つものである。
調査データ 該当期間	2008 年～2022 年 12 月
研究の方法 (使用する試料等)	・対象となる患者さん 2008 年 1 月以降に当院眼科で色素緑内障と診断した症例を対象 ・利用する情報 対象患者のカルテから年齢、性別、屈折値、ハンフリー静的視野検査の MD 値、手術歴、初診時および最終診察時の眼圧と抗緑内障点眼薬の本数を調査し、それらの内容について検討する。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：079-272-8555 (社会医療法人三栄会ツカザキ病院代表) 担当者：眼科 青木 良太
備考	研究に同意しないことまたは同意を撤回することによって不利益な取り扱いを受けることはありません。

